



国立国会図書館
第31回関西館資料展示

左手を

ご覧ください！

左利きというまなざしで、見えてくる風景

展示資料解説

はじめに

朝起きて寝室のドアノブを時計回りに回し、出かける前に腕時計を左腕につけ、自販機にお金を入れ、駅の改札を通り、サイドテーブルのついた椅子に座って、横書きのノートにメモを取り、パソコンのマウスを握り、カウンター席で友人と並んで昼食を取る。このありふれた日常は、左利きの人と右利きの人では見える風景が違います。「左利き」というまなざしから見ると、右利きを前提にデザインされたものの多さに気が付き、見えてくる景色があるのではないのでしょうか。

本展示では、左利きに関する本や雑誌など約70点を、歴史、科学、社会などの切り口から紹介します。左利きという身近な個性について、そして利き手に関わらず誰もが暮らしやすい社会について、この機会に考えてみませんか？

目次

第1章 左利きをめぐる歴史・・・・・・・・・・・・・・・・ p.1

第2章 利きとは何か・・・・・・・・・・・・・・・・ p.14

第3章 左利きをめぐる現在・・・・・・・・・・・・・・・・ p.26

凡例

- ・ 展示の順番にしたがって資料の情報を掲載しています。
- ・ 書誌情報は「タイトル / 編著者名等, 出版者, 出版年」の順に記載しています。
【 】内は資料の請求記号です。
- ・ ★印は、デジタル化が完了した資料の原本であることを示しています。デジタル化資料は国立国会図書館デジタルコレクションでご覧いただけます。公開範囲は資料により異なりますが、館内の端末からはすべて閲覧可能です。

<デジタル化資料を閲覧するには>

- ・ 国立国会図書館オンライン（ <https://ndlonline.ndl.go.jp/> ）で、ご覧になりたい資料の請求記号やタイトルなどにより資料検索を行い、検索結果の画面で「デジタル」のボタンをクリックしてください。
- ・ または、国立国会図書館デジタルコレクション（ <https://dl.ndl.go.jp/> ）で、ご覧になりたい資料の請求記号やタイトルなどにより資料検索を行ってください。
- ・ 各資料の公開範囲は、書誌事項の後ろに付した以下の表示をご確認ください。

インターネット公開

インターネット上で閲覧が可能な資料です。ご自身の端末（スマートフォン、タブレット、パソコン）などで閲覧できます。

館内／図書館・個人送信

国立国会図書館の館内の端末、および図書館向けデジタル化資料送信サービスに参加している図書館の端末で閲覧が可能な資料です。個人向けデジタル化資料送信サービスをご利用の方は、ご自身の端末（スマートフォン、タブレット、パソコン）などでも閲覧できます。

国立国会図書館内限定

国立国会図書館の館内の端末でのみ閲覧が可能な資料です。

¹ “図書館向けデジタル化資料送信サービス”. 国立国会図書館.

https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/index.html

² “個人向けデジタル化資料送信サービス”. 国立国会図書館.

https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html

第1章 左利きをめぐる歴史

左利きの人を取り巻く生活環境や左利きに対する人々の価値観は、時代によって変化してきました。第1章では、社会において左利きがどのように捉えられてきたかを示す資料を紹介します。また、歴史上の人物や著名人のなかで、左利きとされている人物に関する資料も展示します。

1. 暮らしのなかの左右学 / 小沢康甫 著. 東京堂出版, 2009.10 【EC211-J115】

展示資料によれば、我が国では古来、左を上位としてきたが、近代になって、ヨーロッパに古くからあった右を正、左を邪とみなす習俗が入ってきたため、右を上位とするようになったとのことである。日常の暮らしの中に見られるモノやコトなどを手掛かりに、なるべく幅広い視点から左右の謎を解き明かそうとしており、右と左、右回り・左回り、慣習の中で見られる左右の優劣などが分かりやすく解説されている。左利きについて、広く「左右学」の観点から考えてみるためのきっかけとなる一書。

★2. 右きき世界と左きき人間 / マイケル・バーズリー 著, 西山浅次郎 訳. TBS教育事業本部, 1972 【KS152-35】

国立国会図書館内限定

著者はイギリスのユーモア作家。著者自身左利きで、イギリス左利き協会の設立者の1人である。展示資料では、左利きの人がかかっている状況について、歴史的な側面、文化的な側面、心理的な側面といった幅広い視点から述べられている。時間的には、古くは古代ギリシア・ローマ

時代以前から新しいところではビートルズまで、空間的には、大は宇宙から小はタイプライターのキー1つにまで及んでおり、左利きが様々な事項に関わっていることが理解できる。ユーモア作家だけあって、文章はユーモアとウィットに富んでいる。

★3. 左利きの本：右利き社会への挑戦状 / ジェームス・ブリス, ジョセフ・モレラ 著, 草壁焔太 訳. 講談社, 1980.12 【EB98-662】

館内／図書館・個人送信

展示資料は、第Ⅰ部外国編と第Ⅱ部日本編から構成されている。第Ⅰ部外国編は英語の原著からの翻訳であり、第Ⅱ部日本編は訳者が補ったものである。タイトルにある「挑戦状」や冒頭の「この本は左利きであることの喜びと苦悩の本であり」の文言に、著者の思いが反映されている。内容は、左利きの歴史、科学、生活、芸術やスポーツなどについて書かれている。第Ⅱ部第八章には「左利き商品、店、メーカー案内」、付録として左利き人名録を収録している。

★4. 新釈漢文大系 28 礼記. 中 / 明治書院, 1977.8 【082-Si498】

国立国会図書館内限定

中国の古典『礼記（らいき）』は、中国古代の礼（れい）に関する書であり、全四十九篇から構成される。このうちの内則篇に、「子能食食、教以右手、（子が自分で物を食うことができるようになったら、右手で事をするように教え、）」（p.451）という文が書かれている。

★5. 左利きの世界 / 箱崎総一 著. 読売新聞社, 1968 【491.37-H133h】

館内 / 図書館・個人送信

著者は精神科医で、昭和46（1971）年に「左利き友の会」を組織し（同団体は昭和50年に解散）、事務局長としても活動した。展示資料は、著者の専門の医学的な観点から見た左利きについてだけでなく、スポーツ界、芸能界で活躍する左利きの著名人についてや、左利きの人の日常生活、習慣、左利きをめぐる文化、生物学、物理学、天文学などの学問分野からみた左利きについてもまとめられた一般書。最後の第八章「左利きとノイローゼ」では、著者の専門領域である精神医学の立場から、左利きの人は必ずしも能力が劣っているわけではなく、異常でもない、それゆえ左利きの人に対する不当な扱い、偏見を取り除くべく、社会の目を変化させることが大事業である、と左利きを取り巻く社会状況を変化させる必要性が唱えられている。

6. 左ききの人の本：右にでるモノがない! / 斎藤茂太 著. エムジー, 1988.4 【SC71-E26】

展示資料は、右利き社会における施設や製品が左利きにいかに使いづらいついて、多数の事例を紹介している。また、スポーツや芸術における左利きの人の活躍とその理由、左利きの性格などを説明している。

7. 左ききのトリセツ(取扱説明書) / 實吉達郎 著. グラフ社, 2009.1 【SC71-J75】

展示資料は、利き手診断テスト、左利きQ&A、左利きの逸話と物語、左利き論の4章から構成される。利き手診断テストの章では、基本利き手チェック、思考パターンチェック、無意識行動パターンチェックの3つがあり、点数により、右利き、左利き、両利きの度合いがわかる。

8. 見えざる左手：ものいわぬ社会制度への提言 / 大路直哉 著. 三五館, 1998.10 【SC71-G177】

展示資料は、右利き社会において、左利きの人がどのように生きてきたか、どのような存在であったかの説明から始まる。次に、宗教の世界で左手と右手が何を象徴してきたかや、箸づかいと利き手のとらえ方の変遷などについても考察している。最後に、左利きの未来はどうあるべきかについて提言している。また、付録の形式で、左利きの人のための書道の筆法、左利き向けの商品、左利きの人々の団体を紹介している。ちなみに著者は展示資料の出版後に、日本左利き協会を発足させている。

★9. 左利と右利 / 富田精 著, 松本亦太郎 編. 心理学研究会出版部, 大正6 【355-62-(3)】

インターネット公開

展示資料は、左利きと右利きの特徴と割合、その原因と起源、教育における左利きへの対応の三部構成となっている。結論として、左利きは短所もあるが長所もあること、また、思慮なく左利きから右利きに矯正することは無意味であり弊害を伴うことが述べられている。付録では、そろばんを使ったときの左手と右手の動きを比較した実験など、関連する研究を例示している。

10. An experimental study in left-handedness, with practical suggestions for schoolroom tests / Arthur L. Beeley (Supplementary educational monographs pub. in conjunction with the School review and the Elementary school journal, vol. II, no. 2 ... whole no. 8), The University of Chicago press, 1918 【259-B392】

社会心理学者の著者による、子どもの本来の利き手や、左利きと鏡文字・読み書きの能力の関係についての調査。1917年にシカゴの公立小学校で、指で素早く叩く、細い棒を穴に差し込むなど、様々な利き手テストを行い、鏡文字を書く左利きの子どもたちについての事例調査や有効な鏡文字の直し方について述べている。学校においてハンディを抱えてしまう左利きの子どもを、右利き社会に適応させるための教育が行われていたことがわかる。

★11. 左利きの調査研究 / 佐藤喜美二 (掲載誌 教育心理 6(8) 1958.8 pp.56~61 【Z7-181】)

国立国会図書館内限定

著者は勤務校の児童に対して、左利きについての調査を行った。左利き児童の家庭環境、左利きの程度、親の苦心、意見などについての質問紙による調査のほか、握力の疲労度調査、書写速度、筆順についての調査もあわせて行った。調査対象児童のうち、約10%が左利きであり、文字を左手で書く児童が約1.3%であった。左利きの程度には個人差があり、強い左利きは先天的なものであり、軽い程度のは習慣によるものであると著者は推定している。調査の目的が、左利きを「どのようにして治療したか、を調査し、今後、教育的にどのように処置していくかを探

求するため」とされていることから、執筆当時は左利きが治療すべきものとして認識されていたことがうかがえる。

12. Teaching left-handed children / Philosophical Library, [1961, c1959] 【158.435-C594t】

英語圏の小学生を念頭に、左利きの子どもへどのように指導すべきかを記した本。左利きの子どもは、鏡文字や文字を読む向きなど、読み書きにおいて学校で困難を抱えてしまうため、指導が必要だとして、左手に適した英文の書き方がイラスト付きで紹介されている。左利きや鏡文字そのものは障害ではなく、ルイス・キャロルやレオナルド・ダ・ヴィンチといった天才も鏡文字で有名だとしつつも、この本が書かれた当時は、言語障害と左利きが結びつけて考えられており、左利きの子どもをいかに学校や社会に適応させるかが重視されていた。

13. 神々の左手 : 世界を変えた左利きたちの歴史 / エド・ライト 著, ricorico [訳]. スタジオタッククリエイティブ, 2009.6 【GK11-J64】

アレクサンダー大王、レオナルド・ダ・ヴィンチ、アイザック・ニュートン、ナポレオン・ボナパルト、ベートーベン、マーク・トウェイン、ベーブ・ルース、ビル・ゲイツなど、古代から現代における、左利きであるとされる人物について、それぞれの生い立ち、人となり、業績などを解説している。写真、作品、肖像画も多数掲載している。

★14. レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖図 : ウィンザー城王室図書館蔵

手稿より / レオナルド・ダ・ヴィンチ [著] , ケネス・キール, カルロ・ペドレッティ [編] , 清水純一, 万年甫 訳. 岩波書店, 1982.3 【SC61-71】

国立国会図書館内限定

展示資料は、15世紀末のイタリアの科学者・芸術家であるレオナルド・ダ・ヴィンチが、実際に人体を解剖し、緻密な観察により描いた人体解剖図である。左利きの人は、左右が反転した文字である鏡文字を書くことが知られているが、ダ・ヴィンチは生涯を通して左利きであり、鏡文字で手稿を書き綴った。展示資料である解剖図に付された説明文も鏡文字で書かれている。

15. Alice's adventures in wonderland and Through the looking glass / Collier, 1903 【823.89-D645a-n】

展示資料には、ルイス・キャロルの児童小説『不思議の国のアリス』（1865年）とその続編『鏡の国のアリス』（1871年）の原著が収録されている。挿絵は両書の挿絵画家として知られるジョン・テニエルによる。『鏡の国のアリス』では、主人公のアリスは鏡の国へ入り込み、左右、前後、時間が逆になった世界を冒険する。著者のルイス・キャロルは、左利きだった時期があるといわれており、多数の手紙などが鏡文字で書かれている。『鏡の国のアリス』でも、左右が逆転した鏡の国に鏡文字で書かれた書物が登場する。

★16. 鏡の国のアリス / 広瀬正 著. 河出書房新社, 1972 【KH145-79】

著者は、SFやミステリーを中心とした著作のある作家。時間をテーマとしたSFを多く残している。展示資料は、左利きの青年を主人公としたSF小説で、ルイス・キャロルの「鏡の国のアリス」にインスパイアされた作品でもある。主人公はある日突然、左右が逆転した世界「鏡の国」に飛び込んでしまう。鏡の国では、すべての機械や道具が左利き用になっており、文字は鏡文字で、左利きの主人公にとっては快適な世界に思えたが、．．．というあらすじである。鏡の国には「左利きの会」という、左利きの人の権利を守ることを目的とした団体も存在し、左利き用の道具などについての記述もある。

★17. 棠陰比事(とういんひじ) / 桂万榮 編, 駒田信二 訳. 岩波書店, 1985.1 【AC8-141-95】

展示資料は、南宋で編纂された裁判実話集。中国の戦国時代から宋代に至る名裁判の判例が144話収録されている。江戸時代に日本にも伝来して人気を博し、これにならって『板倉政要』や『大岡政談』などの裁判をテーマとした小説が書かれた。推理小説的な興味をそそられる話も多く掲載されている。この中の一話である「利手の左右」では、宋の時代の都官（とくわん 軍事や刑罰を担当する官職）の欧陽曄（おう ようよう）が、検屍書に書かれた被害者の死因から犯人が左利きであることを知る。そこで容疑者である囚人たちに食事をさせて利き手を調べたところ、一人だけが左利きだったため、この者が犯人であることを見破った。利き手により犯人を特定する一例である。

★18. ひだりきき / 無声居士 著. 春陽堂, 明治26.5 【特9-976】

インターネット公開

展示資料は、明治中期の探偵小説ブームの影響で純文学作品が一般大衆に売れなくなったため、尾崎紅葉を中心とした硯友社（けんゆうしゃ）の作家たちが、出版社春陽堂の勧めに応じて執筆した「探偵小説」叢書の1冊である。同叢書は、「明治二十六年一月から翌年二月まで出版され、大いに売れた」（伊藤秀雄『明治の探偵小説』（1986））そうである。匿名で執筆したものがほとんどのため、本書の著者も分かっていない。殺人事件の被害者の傷跡の位置や凶器についての指痕から、犯人は左利きであることを突き止めている。明治時代に純文学物の作家が書いた探偵小説ということもあり、今日の探偵小説ファンの目からすると、犯人の意外性といった点では興味が薄いかもしれない。

★19. 死人の鏡 / アガサ・クリスティー 著, 小倉多加志 訳. 早川書房, 1960 【933-cC55s16-O】

国立国会図書館内限定

展示資料には、名探偵エルキュール・ポアロが登場する中編「厩舎街の殺人」が収録されている。被害者が左利きであることが、犯人や殺害方法を推理する上でのポイントとなる。江戸川乱歩が古今東西の推理小説におけるトリックを分類し解説した「類別トリック集成」（『続・幻影城』（1954）に収録）においても、「【左利き】左利きに気づくことによって、犯人が決定する場合」の項の筆頭にこの作品が挙げられている。

★20. 犯罪者と利き手 : 発達の見地からの検討 / 根岸夏己 [著].

[1990] 【UT51-91-A374】

館内／図書館・個人送信

展示資料は、犯罪者に左利きが多いか否かについて調査研究を行った博士論文。著者は、犯罪者に左利きが多いという印象は古くから持たれていたが、多くは左利きに対する誤った価値観や偏見に基づくもので科学的なものではなく、従来の研究からも明確な結論を得られていないとして、男女の受刑者約3,600人を対象とする調査を行った。その結果、一般人と比べて、若年層では右利きであることが少なく、利き手の発達遅延があったが、高齢者では有意な差は認められなかった。著者は、犯罪者の左利きの多寡のみを論ずるのではなく、発達的な見地から、その遅れの有無や特徴を検討することが、より適当であるとしている。

21. Polnoe sobranie sochineniĭ N.S. Liĕskova t.4 / Leskov, Nikolai Semenovich. Izd. A.F. Marksa, 1902 【KP233-17】

展示資料には、小説「Левша（左利き）」が収録されている。著者は、19世紀のロシアのニコライ・セミョノヴィッチ・レスコフ。イギリスの職人たちは、ぜんまいで動く超小型の鋼鉄製の蚤を作り、ロシア皇帝に贈った。一方、ロシアの左利きの職人達は、その蚤の足に蹄鉄を打つという見事な細工を行った。その後、ロシアの左利きの職人は、ロシアにはイギリスよりも優れた職人がいることを示すため、イギリスに向かうことになり、話はさらに展開する。

★22. 野球術：最新研究 / 和田六灘子. 博文館, 1917 【363-261】

日本で野球が今ほど普及していない大正6（1917）年に刊行された、野球の技術に関する研究書。守備、攻撃、共同作戦の三編から構成される。左利きの選手に関するテクニックがいくつか紹介されている。例えばp.134では、今となっては定説であるが、左打者は右打者より一塁に近く、また打った姿勢が一塁に向くので、一塁に早く到達することが説明されている。

23. 週刊『熱討スタジアム』（第287回）まだ「左きき」に偏見があった時代、明るい歌声が世の中を変えた 麻丘めぐみ『わたしの彼は左きき』を語ろう / 麻丘 めぐみ, 高田 英男, 西条 昇 (掲載誌 週刊現代 60 22 60 (22)=2945:2018.6.16 pp.132~135 【Z24-19】)

「わたしの彼は左きき」は1970年代のアイドル歌手麻丘めぐみ氏のヒット曲で、昭和48（1973）年に発売された彼女の5枚目のシングル曲。このヒット曲は社会現象を巻き起こし、左利きはかっこいいとされ、憧れる人が続出した。それまでネガティブに捉えられることも多かった左利きが、ポジティブなイメージを持たれるきっかけの一つとなった。

★24. みんなで左ききになっちゃおう! : 麻丘めぐみちゃんのページ / (掲載誌 平凡 29(13) : 1973.10 【Z24-466】)

国立国会図書館内限定

『平凡』は、『明星』（集英社）とともに人気のあった、映画、音楽などで活躍する芸能人の情報を掲載したグラビア中心の月刊誌。展示の記事は、麻丘めぐみ氏の「わたしの彼は左きき」歌唱時の振付を示したも

の。左手を使った振りもあり、当時の子どもたちはまねをしたのではないだろうか。なお、展示資料の発行された昭和48（1973）年において、麻丘氏は『平凡』の表紙を3度飾っており、その当時の人気ぶりが伺える。

25. ジミ・ヘンドリックスの生涯 / トニー・ブラウン 著, 米持孝秋 訳. シンコー・ミュージック, 1993.4 【KD286-E189】

ジミ・ヘンドリックスは、資料No.11『神々の左手：世界を変えた左利きたちの歴史』でも紹介されている有名な左利きのギタリスト。左利きでありながら右利き用のギターを逆さまに構えて演奏した。「ロック・ギターの革命児」として、ギターという楽器の演奏方法の可能性を広げ、後世のギタリストに与えた影響は計り知れない。ライブでの派手なパフォーマンスも有名で、ギターを歯で弾いたり、背中に回して弾いたりといった演奏でのパフォーマンスだけではなく、ステージ上でギターを叩き壊す、さらにはギターにライター・オイルをかけ、火をつけて燃やしてしまうということまで行った。

★26. 左ぎっちょの歌 / 真樹日佐夫 ; 石原豪人 (掲載誌 週刊少女フレンド 1(1)(1)~1(11)(11),1963 【Z32-410】)

国立国会図書館内限定

著者は、漫画原作者・小説家・空手家で、漫画原作者の梶原一騎の実弟。「左ぎっちょの歌」は『週刊少女フレンド』の創刊号から11回に渡って連載された少女小説。母親が広島で被爆したことから、原爆症による神経麻痺のため右手が動かなくなった小学5年生の少女が、左手で

デザイナーを目指す物語。右手を傷つけられたため左手で演奏するギター弾きとの出会いなど、周囲の人々から力づけられながら、挫折することなく夢に向かって進んでいく。主人公が似顔絵描きのアルバイトをしていた際に、左手で描くことから、心無い言葉を投げつけられる場面もあり、当時の左利きに対する偏見を知ることができる。毎ページに描かれているイラストレーターの石原豪人による挿絵も見どころである。

第2章 利きとは何か

利き手とは何で、なぜ生まれるのかという疑問は、脳科学、心理学、生物学など、様々な分野で研究されてきました。さらに、人間以外の動物にも、左右の行動の差があることが指摘されています。第2章では、科学的な視点から、左利きや体の左右差などについて取り上げた資料や論文を紹介します。

27. 左対右きき手大研究 / 八田武志 著. 化学同人,2008.7 【SC71-J47】

平成19（2007）年時点までの利き手研究を、様々な疑問に答える形で紹介している。第1章から3章では「左ききは器用?」「左ききは短命?」といった巷の種々の俗説の真偽を検証している。第4章以降は、「きき手の決め方」、「なぜ右ききが多いのか」、「動物にもきき手はあるのか」といった興味深い疑問に対して、諸説とそれらに対する考察を述べている。利き手に関する知識を包括的に得ることができる。著者は、左右脳研究を数多く行ってきた神経心理学者で、日本人に適した利き手テスト「H.N利き手テスト」の考案者でもある。

28. 非対称の起源：偶然か、必然か / クリス・マクマナス 著, 大貫昌子 訳. 講談社, 2006.10 【M21-H217】

利き手および左右の機能分化の第一人者として知られる著者が、「右手」と「左手」という概念について、生物的な側面、社会的な側面から幅広い視点で学術的に論じている。取り上げられているテーマは、心臓の位置、脳の機能、人間の左右を決める遺伝子、宗教における左右の意

味、左右を表す各国の言葉、太陽や天体の向き、右側通行と左側通行、草刈りをする農夫の利き手、スポーツ選手の利き手…と多岐にわたる。利き手を生み出す要因は様々で、今の社会に右利きが「たまたま生き残っただけ」であると述べている。古今東西の右利きと左利きを深く考えることができる本である。

29. Neuropsychology of left-handedness / Jeannine Herron (Perspectives in neurolinguistics and psycholinguistics), Academic Press, c1980 【SC364-58】

★30. 左きき学：その脳と心のメカニズム / ジーニー・ヘロン 編集, 近藤喜代太郎, 杉下守弘 監訳. 西村書店, 1983.6 【SC71-304】

国立国会図書館内限定

神経心理学者のJ.ヘロン博士ら18人の研究者が、それまでの左利きに関する研究史や自身の研究成果をまとめている。右利きの人と比較した左利きの人々の脳の構造や能力の違いを調べた研究、障害者や双子に左利きが多いとする原因を調査した研究、左利きとなる要因を考察した研究など、左利きについての本格的な研究が多数紹介されている。

31. 手に映る脳, 脳を宿す手: 手の脳科学16章 / GÖRAN LUNDBORG [著], 砂川融 監訳. 医学書院, 2020.9 【SC67-M1】

「手」に関する様々な知識がまとめられている。利き手についても、左利きに対する偏見の歴史、左利きの著名人、そして利き手の原因や起源

に関する研究から得られた知見がまとめられている。近年の研究によると、利き手という特性は、最初の脊椎動物が出現した何億年も前に生じたものであり、ほとんどの動物種がヒトと同じように利き手を持っている可能性があるという。

★32. 潜在的利き手と左右大脳半球の機能的非対称性 / 伊田行秀 [著].
[1997] 【UT51-97-H330】

館内／図書館・個人送信

自分で認識している利き手と、生得的な利き手である「潜在的利き手」は異なることがある。展示資料では、利き手は左右どちらかとはっきり決まっているものではなく、動作によって使いやすい手は異なるものと捉え、様々なテストによって潜在的利き手を測定している。また、各個人によって、右脳と左脳どちらがより活発かという利き脳があり、潜在的利き手と利き脳には相関性があるのではないかと述べている博士論文。

★33. かくれた左利きと右脳 / 坂野登 著. 青木書店, 1982.12 【SC71-282】

国立国会図書館内限定

利き手と利き脳（右脳（直感的）と左脳（分析的）のどちらが活発か）の関係を考察している。著者は、利き手は生まれた時から決まっているとし、これを潜在的利き手と呼んでいる。潜在的左利きは右脳型の傾向があること、腕組みをした際に左腕が上になれば潜在的左利きの可能性が高いという研究結果は興味深い。右利きの中には、潜在的左利きであるが、右利き優先の社会の圧力などによって右利きへと変わった「かく

れた左利き」が多くいると推定している。あなたも実は左利きなのかもしれない。

34. Left handed, right handed / Mark Brown. David & Charles, c1979 【SC364-79】

★35. 右と左の脳生理学：右脳思考と左脳思考 / マーク・ブラウン 著, 新井康允 訳. 東京図書, 1981.7 【SC364-82】

国立国会図書館内限定

利き手と関係が深いとされる右脳、左脳の違いを紹介した一冊。右脳はかつて劣位半球と呼ばれ、特筆した機能はないとされていた。しかし、その後の研究で、右脳は空間認知や音楽などの非言語的活動、創造的思考に優れていることが明らかになった。著者は、両方の脳を相補的に働かせることで能力を最大限発揮できるとし、多くの人は左脳に依存する傾向にあることから、右脳をより活用する方法を紹介している。

36. 左利き,右利き者の聴覚機能における大脳半球機能差に関する研究 / 清水武.立正大学短期大学部. 1985-1986 【Y151-S60450104】

左脳と右脳の働きの差と利き手に着目した科研費研究レポート。左脳は言語に関連した働きを持ち、右脳は空間認識や音楽に関連した働きを持っている。また、左脳は右半身、右脳は左半身を司ることが知られている。このレポートでは、こうした脳機能の左右差と、左利きの人の方が音楽の識別や記憶において優れた傾向を示すことを実験によって明らかにしている。

**37. 視覚認知機能のHemispheric Lateralizationと利き手 / 清水昭規
[著]. [1981] 【UT51-58-G830】**

文字や図形の認知で左右どちらの視野がより活発に使われるかは、利き手によって差があることを示した博士論文。左脳と右脳では言語の認知機能に差があり、その左右差は利き手によって異なる傾向がある。仮名文字と漢字を使い分ける日本語話者についての文字認知と利き手の研究は、それまでの欧米での研究とは異なるものであったようだ。

**38. 左利き者の言語中枢について(第一報)文献的考察 / 伴 貞彦 (掲載誌
紀要 / 神戸市看護大学短期大学部 (19) 2000.03 pp.119~124 【Z19-
1313】)**

左利きの人の言語機能に関する研究のレビュー論文。右利きの人の約95%は左脳に言語機能を持つ。一方、左利きの人の中で左脳に言語機能を持つ人の割合は61~70%である。左利きの人の中には、右脳に言語機能を持つ人が15~19%、両半球に言語機能を持つ人が15~20%いると報告されている。また、脳の損傷により生じる失語症は、右利きの人よりも左利きの人の方が多傾向にあることなどが報告されている。

**39. 利き手に関する研究 / 小川 嗣夫 (掲載誌 人間文化研究 = Journal
of human cultural studies : 京都学園大学人間文化学会紀要 (1)
1999.12 pp.33~49 【Z71-D952】)**

利き手を決める環境的要因を、利き手テストとアンケートによって調査した論文。昭和61(1986)年から平成11(1999)年にかけて所属大学

の学生を調査し、右利きの割合が減少傾向にあること、家族に左利きの人がいると左利きの割合が増える傾向があることを示した。利き手には社会や家族など、周囲の状況が大きく関わっていると考察している。

★40. 「生活の場における右と左」報告書 / 上智大学学内共同研究「生活の場における右と左」プロジェクト・チーム, 1983.4 【SC71-311】

国立国会図書館内限定

昭和56（1981）、57（1982）年度に、上智大学が中心となり実施された共同研究結果をまとめた報告書。手、足、脳、器官、生物、スポーツにおける左右の非対称性をテーマとした各種研究が記載されている。利き手については、上智大学の学生約4,000人を対象に調査を行い、手と足の利きが同じになる傾向が高いといった結果を得ている。また、実験当時は対象者の約8.4%が幼少期に利き手変更のしつけを受けたと回答している。

★41. Lateral dominanceに関する研究：利き手・利き脳 / 友久久雄 著. 多賀出版, 1985.2 【FG1-567】

館内／図書館・個人送信

“Lateral dominance”（片側優位）とは、行動を効果的に行うために身体の機能などに左右で差が生じる、すなわち「利き」が生まれる現象を指す。展示資料では、16世紀から20世紀後半までのLateral dominanceの研究史が年表と共にまとめられている。また、手、目、耳、足など様々な部位の利きを調べるテストが記載されている。著者は、これらのテス

トを使って幼児、障害者の利きを調べ、利き手に関しては、右利き社会の影響を強く受けて右利きになることが多いと結論づけている。

42. 神経心理検査ベーシック / 武田克彦, 山下光 編著. 中外医学社, 2019.5 【SC364-M12】

現在普及している3種の利き手テスト（エジンバラ利き手テスト、H.N利き手テスト、FLANDERS利き手テスト）が紹介されている。利き手テストは、研究において正確に利き手を判断するために開発された。「字を書く」「ハサミを使う」「歯ブラシをする」などの様々な場面でどちらの手を使うか回答し、その結果から利き手を判断する。自分が思う利き手と実際の利き手はしばしば異なることが報告されている。試してみると、もしかしたらあなたにとって意外な結果となるかもしれない。

43. ドミナンスファクター：左?右?目・耳・手・足・脳半球の優位側を知ることで、あなたの学習能力は飛躍的に向上する / Carla Hannaford 著, 杉田義郎, 守山敏樹 邦訳. 永井書店, 2014.1 【SB82-L4】

手、目、耳、足、脳半球の利き（優位性）を調べる方法が紹介されている。利きの組み合わせから、32（2の5乗）種類の優位プロフィール（学習の好み）に分類し、それぞれに適した学習環境を提示している。著者は、学習困難を抱えている生徒の優位プロフィールを見出すことで、その生徒を理解し、能力を伸ばす手助けができるとしている。日常生活で利きを意識することは少ないが、利きを知ることは自己や他者の理解にもつながる可能性がある。

★44. 子どもの手の器用さについての心理学的研究 / 遠藤晶 [著].

[1999] 【UT51-2000-N632】

館内／図書館・個人送信

子どもの手の器用さが近年低下しているのでは、という教育現場での危機感から、小学生の手を使う動作の発達や利き手の発達について調査した博士論文。手の器用さや利き手には、空間認知や運動の知覚も関わっており、経験によって発達するものであるとする。手を使った動きを褒め、できないことに共感し、動作へのアドバイスをする、といった環境によって、子どもの利き手を育て、手の器用さを育てることができるだろうと述べている。

45. 幼児における利き手の発達と利き手の変更 / 橋 廣（掲載誌 東邦学誌 = Journal of Toho Gakuen 42(2):2013.12 pp.129~141 【Z22-761】）

幼児の潜在的利き手と利き手を変更させる指導の実態を調査した研究論文。調査の結果、養育者による左利きから右利きへの変更の指導が、特に女兒に対して多く行われていることが明らかになった。利き手を強制的に変更すると、本来の利き手が麻痺しているかのように脳が訓練され、個性を出せなくなってしまうことが報告されており、変更はすべきではないとしている。ただ、調査では左利きの矯正を行う幼稚園が20年前と比較して少なくなっていることも明らかになっており、教育の現場では徐々に改善しつつあることがうかがえる。

46. 利き手は器用か / 木下 昌也 (掲載誌 研究紀要 / [志學館大学文学部] [編] 22(1) 2000.07 pp.141~148 【Z22-1122】)

一般には利き手の方が器用だと思われているが、実は非利き手の方が得意な動作がある、という実験結果を示す論文。鏡に映したものを描くなど、慣れていない知覚が伴う運動は非利き手の方が得意だったことから、利き手の動かしやすさは、単に運動能力だけではなく、空間認知などの知覚と運動が結びついたもので、経験によって利き手が培われることを示唆している。

★47. 劣等感からの解放 / 関計夫 著. 牧書店, 1961 【146-Se126r3】

館内 / 図書館・個人送信

展示資料は、劣等感の原因を心理学的に考察したもので、劣等感を抱かせるものの一例として左利きが取り上げられている。左利きの人を抱く劣等感は、左利き自体のせいではなく、エチケットや右手向きの道具など、右利きの人が多い社会の習慣が押し付けたものであり、周囲の人が左利きの人を遇する態度に問題があると指摘している。左利きの大学生が「ギッチョ」と冷やかされた体験や、児童が右利きに矯正された事例も紹介されている。

48. The psychology of left and right / Michael C. Corballis, Ivan L. Beale / Lawrence Erlbaum Associates, 1976 【SB71-23】

★49. 左と右の心理学 / マイケル・C.コーバリス, イヴァン・L.ビール 著, 白井常 [ほか]共訳. 紀伊国屋書店, 1978.3 【SB71-30】

人間の左右差と利き手について、社会心理学と生物学の両面から迫っている。人類の進化の過程で手が複雑な動作をするために脳の非対称性が生まれ、よりコントロールしやすい利き手が生まれたと述べている。そして、非対称的な道具や習慣ができてくると、集団で利き手を揃えて活動するインセンティブが生まれ、結果として右利きが多数派の社会が形成されてきたとしている。

50. 右利きのヘビ仮説：追うヘビ、逃げるカタツムリの右と左の共進化 (フィールドの生物学 = Discoveries in Field Work ; 6) / 細将貴 著. 東海大学出版会, 2012.2 【RA141-J110】

51. Handedness coevolution : predator-prey interaction drives speciation in snails / 細 将貴 [著].2008 【UT51-2008-C559】

資料No.50には、現在は早稲田大学准教授である著者が、大学院生の時に行った研究の一部始終が描かれている。カタツムリは大多数の種が右巻きの殻を持つが、左巻きの殻を持つ種も少数存在する。進化の過程で左巻きの種が誕生した要因は長年の謎だったが、著者はカタツムリを捕食するヘビの中に右利き（右巻きカタツムリを食べるのが得意）がいて、そのヘビが生息する地域では左巻きが生存に有利だったからではないかという仮説を思いつく。仮説の着想から立証にいたるまでの研究過程がユーモラスかつ詳細に描かれている。また、当館ではその研究をまとめた当時の博士論文を所蔵しており、資料No.51がそれにあたる。

52. 右利きと左利きのダイナミズム--群集の中の左右性 (特集 生物の左右性--分子から群集まで) / 堀 道雄 (掲載誌 遺伝 : 生物の科学 53(12) 1999.12 pp.47~53 【Z18-22】)

片方のハサミだけ大きいシオマネキのように、生物の体が左右非対称なことを左右性と呼ぶが、これが生物の世界でも左利きと右利きを生み出している。アフリカ・タンガニーカ湖に生息するシグリッドという魚は、うろこを食べる珍しい種、スケールイーター（鱗食魚）として知られているが、彼らには口が右にねじれた個体と左にねじれた個体がいる。このねじれが獲物を襲う時の方向に影響を及ぼしている。著者はこの特徴の発見者であり、10年以上にわたる研究からこの特徴が生存にどう関係しているかを明らかにしている。

53. ブレインサイエンス・レビュー = Brain science review 2015 / 廣川信隆 編. クバプロ, 2015.2 【SC364-L76】

資料No.52『右利きと左利きのダイナミズム』と同様、魚の鱗を餌とする鱗食魚の捕食行動の仕組みに迫っている。ハイスピードカメラなどを用いて捕食行動を直接観察し、その結果から利きを生む神経回路を明らかにしている。鱗食魚の研究は、利きを生み出す脳の仕組みについて重要な知見をもたらすことが期待されている。

54. Preferential hand use by captive chimpanzees (Pan troglodytes) in manual and tool digging / Alba Motes-Rodrigo, R. Adriana

Hernandez-Aguilar, Matthias Laska (掲載誌 Primates / Japan Monkey Centre 60(4):2019.7 pp.367~373 【Z54-H771】)

チンパンジーにも利き手があることを示した論文。地面に埋められた食べ物を掘り出す動作を観察し、5匹が右手、2匹が左手を好んで使用していた。本雑誌の他の号には、ゴリラやオランウータンなど様々な霊長類の利き手を調査した論文も掲載されている。

55. 犬の「利き手」が分かれば気持ちまで分かる? / (掲載誌 Newsweek = ニューズウィーク 38(5)=1826:2023.1.31 p.55 【Z1-387】)

身近な動物である、犬。彼らにも人と同じように利き手があることが近年の研究で報告されている。犬の利き手は、一般的に「お手」と言うと差し出してくれる手とされる。研究では左利きの犬の方がストレスを感じやすいことが示唆されている。また、右利きの犬でも左手を使ったならば、ネガティブな感情を抱いているのかもしれないという。利き手は、動物たちをより深く理解するための手がかりになるかもしれない。

第3章 左利きをめぐる現在

近年、左利きも自然な利き手であり、身近な個性であるとの認識が広まってきています。第3章では、左利きの人々の日常生活を理解するための資料や、使いやすい道具のデザインに関する資料など、利き手に関わらず誰もが暮らしやすい社会を考える上でヒントとなる資料を幅広く紹介します。

56. 「左利き」は天才? : 利き手をめぐる脳と進化の謎 / デイヴィッド・ウォルマン 著, 梶山あゆみ 訳. 日本経済新聞社, 2006.7 【SC71-H257】

利き手がどういう仕組みで生まれるのか、左利きが存在する意味は何か、左利きの人々の特性は何か、などといったことについて、著者が世界各地を巡り探求した記録。大学の研究者はもちろん、手相の占い師や筆跡鑑定のセミナー、左利きゴルファーの団体が主催するゴルフ大会なども訪ねている。著者は平成9（1997）年から2年間日本で生活し、平成15（2003）年にはジャーナリズムの奨学生として札幌で1年間を過ごしており、第10章と第11章ではその際のエピソードも述べられている。

57. 左ききのたみやさん。 : 哀愁ただよう左きき爆笑エッセイ / たみやともか 著. 宝島社, 2006.1 【SC71-H207】

自らも左利きである著者が、右利きの人々が気づかない左利きの実態を知ってもらうことを目的に執筆したエッセイ。日常生活で直面した、左利きであるが故の不便や、無意識にしてしまうこと、1日右手を使って

生活した体験記などを描いている。チンパンジーに左利きが多いということが本当かを動物園に行って確かめてみたり、改札を通る人の中に左利きがどれだけいるかを数えたりするなどといった調査もしたとのこと。キャラクターデザインの企業での勤務経験を活かした、コミカルなタッチの絵にも注目。

58. 右手利きと左手利き (特集 「左脳と右脳」の現在) / 山下 光, 瀬知 亜有未 (掲載誌 Brain and nerve 70(10):2018.10 pp.1093~1102 【Z19-266】)

本展示の関連講演会の講師である山下氏らによる雑誌記事。著者らは共生社会の実現を目指したインクルーシブ教育の立場から左利きを考える研究を行っており、その一環として大学生約200人を対象にアンケート調査を実施した。左利きに対して「格好がいい」や「頭がよさそう」などといった、ポジティブなイメージを持っているとの回答が多かった。さらに、左利きの人10人にインタビュー研究を行ったところ、生活面の配慮の要否は分かれたものの、左利きは障害ではなく個性だ、という点では全員が一致した。全ての人が自分らしく長所を最大限に生かせる共生社会を目指し、左利きの人でも積極的に提言することは、両利きの人や病気で利き手が使えなくなった人などにとっても、生活しやすい社会の実現につながるとしている。

★59. 左ききのためのゴルフ入門 / ボブ・チャールズ 著, 川上哲治 訳. ベースボール・マガジン社, 1975 【FS35-124】

館内／図書館・個人送信

著者は、ニュージーランド出身の左利きのゴルファー。1954年にアマチュアとして出場したゴルフ大会で優勝し、1960年代以降プロとして活躍した。クラブの握り方や立ち方、スイングの仕方などの動作面から、道具の選び方なども含め、ゴルフ全体に関する入門書となっている。左利きと右利きとの差に触れた部分はあまりないが、それこそが、「左でゴルフをやって不都合なことは、何ひとつない」(p.23)ということを示しているのだろう。

60. 左利きの棒針編み、かぎ針編みについて / 川口 素子 (掲載誌 杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部紀要 7 2008 pp.25~37 【Z71-J638】)

左利きの人に対する編み方の指導法を検討した論文。棒針編みとかぎ針編みの2つについて、糸や針、手の動きを示した絵を左右反転させて鏡像画にすることで、左利きの人でも編むことができるかを実験した。その結果、どちらの編み方でも、単に糸や針、手の動きを逆にするだけでは必ずしも右利きと同様に編むことはできないこと、棒針編みよりもかぎ針編みの方が、より左利きの人への配慮が必要ということが分かった。イラストや写真、図が多く分かりやすい。

61. 左利きと右利き / (掲載誌 母の友 (636) 2006.5 pp.38~47 【Z6-76】)

『母の友』は、親や保育士など、子どもに関わる人を対象とした雑誌。同誌には読者からの投書のコーナーがあり、左利きの子どもを持つ親か

らの投書も度々集まるという。展示資料では、子どもの左利きについてどう考えたらよいかを検討している。精神科医や幼稚園・保育園の先生からの意見も交えつつ、利き手も背の高さや髪の毛の質のようなものと考えれば、子どもの利き手もゆったりした気持ちで眺められるのではないか、と述べている。

62. 大人目・子どもの目 左ききは矯正すべきか? / 八田 武志 (掲載誌 小児看護 = The Japanese journal of child nursing, monthly 28(1) (通号 344) 2005.1 pp.98~105 [Z19-953])

子どもの左利きについて述べた雑誌記事。左利きになる原因について、遺伝子で決まる・出産の際の脳への軽微な損傷による・脳内ホルモンによるという3つの仮説を紹介したうえで、いずれの場合でも、利き手を変えようとするのは、わざわざ不得意な手を使わせようと無理をさせるため好ましくないと指摘している。とはいえ、習字の授業の際など、左利き用の道具が少なく高価であるといったような、左利きの人が不便を感じる状況は存在するため、子ども本人が嫌がらないのであれば、右利きに変えることを試してみてもよいと提案している。

63. マイノリティー(少数派)文化を考える異文化理解教育の実践 : 「左きき」を題材として / 久保 哲成 (掲載誌 教職教育研究 = Studies in teachers development : 教職教育研究センター紀要 / 教職教育研究センター紀要委員会 編 (23):2018.3 pp.91~95 [Z7-B714])

兵庫県立柏原（かいばら）高校の教員である著者が、平成28（2016）年7月に、3年生のあるクラスの41人に対して行った授業の記録。著者は、身近に存在するマイノリティーである左利きの人の心情を考える力を培うことは異文化理解につながると考え、この授業を行った。授業では、日常の動作をどちらの手で行うかによって生徒を左利きと右利きのグループに分け、グループごとに、学校生活で左利きの人 が不便を感じる状況をランク付けさせた。右利きの生徒の感想も紹介されており、マイノリティーに属する仲間の存在を知り、理解を深めていくことの重要性を実感したようである。

64. 日本語版FLANDERS利き手テスト：信頼性と妥当性の検討 / 大久保 街亜, 鈴木 玄, Nicholls Michael E. R（掲載誌 心理学研究 / 日本心理学会編集委員会 編 85(5):2014.12 pp.474~481【Z19-10】）

「FLANDERS利き手テスト」とは、平成25（2013）年にオーストラリアで開発された利き手テストである。字を書く、絵を描くなどの動作10項目について、どちらの手を使うかを回答させるもの。著者らは、このテストを日本語に訳し、日本人に対しても有効であるかを、大学生431人を対象に調査を行った。参加者の一部には1か月半後に再度テストをし、既存の利き手テストも受験させ、テスト間での比較を行うなどの追加の調査も行った。その結果、FLANDERS利き手テストは、高い信頼性と妥当性があり、日本人の利き手を適切に測定できる尺度であることが分かった。

65. The left-handers' handbook / Diane G Paul 2nd ed. Robinswood Press, 1998 【X】

左利きの子どもに対して、親や教師がどのように接したらよいかについて述べた本。全8章からなり、一部の章では末尾にガイドラインを掲載している。「左利きの人が右利きの人より賢いというのは本当か」「左利きの子どもを右利きに矯正したら吃音になるか」などのよくある質問を取り上げた第2章や、読み書き・計算の障害や注意欠陥障害と左利きとの関係を扱った第4章などは、特に親や教師のニーズを意識した部分と言えよう。また、編み物やギターの使い方についても述べられており、巻末には左利き用製品を扱う欧米の企業も紹介されている。

★66. 左ききの道具を使ってみたら / (掲載誌 暮らしの手帖. 第3世紀 (通号 76) 1998.11 pp.80~83 【Z6-2136】)

国立国会図書館内限定

左利き用の道具は近年関心が集まりつつあるが、20世紀末の時点で既に少なからず販売されていた。この雑誌記事は、ハサミや急須、トランプなど7品目11種類の左利き向け道具を用意し、20代から60代の左利きの人に使ってもらった様子を伝えたもの。ハサミは4種類があり、その中には、「右ききハサミに慣れてしまった左きき用ハサミ」もあった。右利き用の道具に慣れた人にとっては必要ないと感じるものもあったものの、左利きが強い人には、多くの道具がありがたく感じられたという。記事は、「右ききの人には当たり前」である「自分の使いやすい道具を自由にえらべる」ことが、左利きの人にとってもそのようになることを願って締めくくられている。

67. 利き手と配置による台所作業のパフォーマンスの差異 / 今村 有一, 城 仁士 (掲載誌 神戸大学発達科学部研究紀要 / 神戸大学発達科学部 編 9(1) 2001 pp.129~145 【Z7-B134】)

日常生活に欠かせない調理作業に利き手による差はあるのかを調査した論文。著者は、調理の導線が左から右に設計されたものと、その逆の右から左になっているものとの2種類の台所を用意し、ジャガイモの調理と皿洗いの2種類の動作を学生20人に行わせた。その結果、左利きの人は右利きの人とは逆に、右から左に配置された台所の方が作業しやすく、それは普段は左から右に配置された台所を利用している左利きの人であっても同様であることが判明した。左利きの人であっても、左利き向けに設計された生活環境に置かれてはじめてその便利さに気づくことがあるのだろう。

68. 利き手と作業への影響に関する文献検討：左手利き者への看護技術習得支援の考察 / 川西 幸広, 末次 典恵 (掲載誌 宮崎県立看護大学研究紀要 = Journal of Miyazaki Prefectural Nursing University 23(1・2):2022 pp.21~29 【Z74-C71】)

看護教育の場で左利きの人を指導する際の留意点を考察した論文。単純な動作であれば作業能率に差はなく、非利き手での作業は左利きの人の方が順応しやすいことなどが述べられている。利き手の矯正は作業能率の低下などのデメリットもあるため、利き手での習得を基本としたうえで、個人の習得状況を確認し確実に技能を身に付けられるよう助言すること、物品の配置や立ち位置を調節することが必要であるとしている。

69. ユニバーサルデザイン事例集100 / 日経デザイン 編. 日経BP社, 2004.10 【DH415-H44】

代表的なユニバーサルデザイン製品100点の開発ストーリーと、PPP (Product Performance Program) と呼ばれるユニバーサルデザインの達成度の評価基準を用いた検証結果を紹介している。平成16 (2004) 年刊行の本だが、現在でも日常生活でよく目にする商品も多数掲載されており、誰もが使いやすい製品は時代を経ても使われ続ける名品となりうることがうかがえる。

70. ユニバーサルデザインの教科書 = Textbook for Universal Design 第3版 / 中川聡 監修, 日経デザイン 編. 日経BP社, 2015.6 【M371-L60】

ユニバーサルデザインにビジネスとして取り組むためのノウハウやテクニックを紹介した実践的な解説書。ユニバーサルデザインの初歩の知識から、PPPについての紹介と活用方法、実際のモノづくりの現場で取り入れるための考え方やワークフローについて、見開き単位でまとめられている。p.76には、PPPが掲げる原則2「さまざまな使い方ができる」の評価のガイドラインである「利き手を選ばない」について解説されている。

71. 人間工学とユニバーサルデザイン新潮流 = human engineering and universal design new tide : 実践ヒューマンセンタードデザインの

ものづくりマニュアル 増補版 / ユニバーサルデザイン研究会 編. 日本工業出版, 2017.1 【M141-L58】

人間中心、人間工学に基づく設計技術をテーマに、実際のものづくりに即したユニバーサルデザインの仕方、測定評価法、評価などを扱う。何度も改訂がなされており、この版ではIT時代に対応した内容、最新の規格などが反映された。p.186には「急須は左利きには万事休す」というコラムがある。

72. スッキリ!がってん!ユニバーサルデザインの本 / 古田均 著. 電気書院, 2018.12 【M371-M1】

ユニバーサルデザインを理解するための体系的な知識を、わかりやすく解説した入門書。企業や教育機関の取組について多数例示されており、「より多くの人々に利用しやすい商品进行設計する」ことが社会においてどのように実践されているのかを、基礎知識と共に理解することができる。

73. 「インクルーシブデザイン」という発想：排除しないプロセスのデザイン / ジュリア・カセム 著, 平井康之 監修, ホートン・秋穂 訳. フィルムアート社, 2014.6 【M371-L35】

社会を「インクルーシブ」（包み込む）するための、新しいデザイン理論「インクルーシブデザイン」について紹介している。これまで実践されてきたユニバーサルデザインとの違いやその限界、日本での具体的事例についても詳しく言及しながら、これからは作り手とユーザーが一

体となって問題解決力に富んだデザインを創造する時代であるとし、インクルーシブデザインの実践事例を多数掲載している。



会期：2023年9月21日（木）～10月17日（火） ※日曜・祝日を除く

会場：関西館総合閲覧室（地下1階）

発行：国立国会図書館

編集：国立国会図書館関西館 資料展示班

